

会議名 (審議会等名)	平成24年度 第3回 川西市健康づくり推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉部健康づくり室 内線(4530)		
開催日時	平成24年11月29日(木)午後1時30分~午後3時00分		
開催場所	川西市医師会 医療会館		
出席者	委員 (敬称略)	竹本 博行 藤末 洋 前田 祐一 今西 要 井上 克己 中村 多菟美 森本 猛史 福西 勝 鈴木 光義 和島 一吉 中江 眞理 野中 眞実 水田 賢一 益満 良一 根津 倫哉	
	その他		
	事務局	健康福祉部健康づくり室 山中室長・池田主幹・柳川副主幹・松本主査 太田主査・米田主任・北田主任・武田事務員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別添「審議経過」のとおり		
会議結果	別添「審議経過」のとおり		

審 議 経 過

第3回 川西市健康づくり推進協議会 審議経過（要旨）

平成24年11月29日

午後1時30分～3時00分

川西市医師会 医療会館

出席者：15名（欠席者：5名）

[会議次第]

- 1 協議事項
川西市健康づくり計画（案）について
- 2 その他
- 3 閉会

<p>事務局</p>	<p>議事 【 1 . 開会】 本日は、ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。 中川副会長、三宅委員、日下委員、藤木委員から、それぞれ所用や公務のため欠席の連絡がありました。過半数以上の委員にご出席いただいておりますので、本日の会議が成立していますことをご報告申し上げます。 本日の会議は公開となっておりますので、よろしく申し上げます。 お手元の資料を確認します。 まず、事前にご送付させていただきました川西市健康づくり計画案について、目次の一部と1ページ目が抜けていましたので、改めて配布させていただきました。申し訳ありませんでした。 次にA4縦の様式で「計画名称及び基本理念案」を、A4横の様式で「川西市健康づくり計画に記載する資料」と本年7月10日に厚生労働省より告示されました「国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」を配布しています。後ほど協議の中でご覧いただくこととなりますので、よろしくご願ひいたします。 開催前の連絡事項は以上です。 竹本会長、以後の議事進行をお願いします。よろしくご願ひいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>みなさま、お寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。 ただ今より協議事項に入ります。前回と同様に1時間半をめどに考えていますので、ご協力のほど、よろしくご願ひいたします。 では、事務局より議事の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、協議していただきたい内容について、前回の協議事項からの継続である基本理念について、できれば決定していただきたいと思ひます。お手元の資料には、前回の会議以降にいただいたご意見をとして基本理念案に追加しております。また、健康づくり計画に記載する指標の扱いについて、後ほど説明させていただきます、方向性についてご指示いただきたいと考えております。 では、配布しました健康づくり計画案の主だった修正箇所を説明いたします。 目次の第4章の欄が抜けておりましたが、前回は第4章に基本目標が記載されておりましたので、ここを市民の安心・安全を支える保健医療ということで、施策体系に合わせました。</p>
<p>会長</p>	<p>《計画案説明》 ありがとうございました。修正箇所については、今資料をお配りしたばかりですが、ご意見やお気づきの点があればお願いします。 基本理念の方策案に関する審議をしたいと思ひますが、今ご提示いただいた何箇所かの修正に関するご意見等がありますか。前回のご意見を反映した形での修正ですので、そのあたりも含めてご意見をお願いします。 主に松本委員からご意見をいただきましたが、前回みなさま方にもお目を通していただいたことがベースになっておりますので、変更部分だけに関するご意見があればご願ひしたいと思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>申し遅れましたが、市の主な推進方策の部分で、順番を入れ替えました。内容は変わりませんが、不規則な並びで見にくかったので修正しました。例えば、P49の「母子健康手帳の交付」に関して、以前は順番が整っていませんでしたので、施策を時系列に並び替えました。</p>
<p>委員</p>	<p>P27の網掛け部分ですが、「また、運動によって健康的な体重を維持できれば」とありますが、「健康的な体重」という表現には違和感を覚えます。「体重」ではなく「体力」などの言葉に変えた方がよいのではないのでしょうか。体重だけ維持すればよいのか、という感じも受けます。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>表現が難しいのですが、おそらくBody math indexを意識して表現したいのかと思ひます。 「健康的な体重」というのは、身長などから割り出した標準体重のことをイメージして言</p>

	<p>っているのだと思いますが、表現方法としてどうかというご指摘です。</p>
委員	<p>健康的な体型ではないですか。</p>
事務局	<p>痩せていても、例えばマラソン選手と砲丸投げの選手は体重も違います。普通はBMIという数値を図ったものですので、それをうまく表現できないかということだと思います。単純にBMIが異常な値でも、スポーツをされている方であれば問題はありません。そういうこともイメージして考えたのが「健康的な体重」という表現です。曖昧な感じがしますので、ご指摘はもっともかもしれません。</p>
会長	<p>この文言の表現方法について、ご意見はありませんか。</p>
委員	<p>「適正な体重」か「健康的な体型」のどちらかの表現にした方がよいと思います。</p>
委員	<p>「重」は重さを表現しているため、「健康的な体」でよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>それでよいように思います。</p>
委員	<p>後ろに続く部分が、「メタボ予防や関節炎の軽減」ですので、やせた方がよいという前ふりがあれば、このような訂正も辻褄が合いますが、いかがでしょうか。「怪我や骨折などの予防につながります」は「健康的な体を維持する」という表現でよいと思いますが、逆に「メタボ予防や関節炎の軽減などにつながります」というように訂正するのであれば、「運動によって少し痩せる必要がある」というニュアンスにしなければおかしいと感じます。確かに砲丸投げの選手は体重が重いですが、一般的にスポーツ選手は痩せています。相撲とりは健康なのではなく、体重が重いために関節などを痛めていることも多いようです。総合的には、痩せるというニュアンスでよいと思います。運動によって減量できればよいのではないのでしょうか。運動すると、筋肉がついて体重が増えることもあるでしょうが、一般的にはメタボリックシンドローム予防や関節痛の軽減につながりますというような話につなげて、「運動によって適正な体重を維持できれば」という表現でよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>「健康な体重」ではなく「適正な体重」の方がよいかもしれません。</p>
会長	<p>痩せるのがよいということを表現し過ぎると、誤解を招きます。</p>
委員	<p>「適正な体重を維持できれば」という表現がよいと思います。</p>
会長	<p>この部分は「適正な体重を維持できれば」という表現に変えるということによろしいですか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
会長	<p>では、この部分は「適正な体重を維持できれば」という表現に変更願います。他の部分に関してもご意見はございませんか。P30の「認知症」についても、前回、松本委員からご意見をいただいたものを事務局で挙げていただきましたが、文章の流れに違和感があるということで、本日、松本委員から先ほどお配りした内容での表現はどうかというご提案がありました。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>松本委員から提示された修正案でよいと思いますが、連携ファイルという言葉の前に「つながりノート」という言葉を入れていただきたいと思います。市民に啓発するにあたって、わかりやすくなると思います。</p>
会長	<p>「つながりノート」について、事務局はいかがですか。市でも来年からこの方向で介護スタディの利用が始まりますので、この表現をあえてこの段階で出すことについて、ご意見をお願いします。</p>
事務局	<p>「つながりノート」と「認知症連携ファイル」のどちらが括弧書きになるのかは、他とのバランスがありますのでまだわかりませんが、整合しながら修正していきます。</p>

会長	アルコールに関しては、前回、委員よりご意見がありました、よろしいですか。
委員	細かいことですが、「消化管の疾患」という表現について、消化管と言えば食道、胃、大腸を差しますが、膵臓もあります。「消化器系の疾患」とすると最初に肝臓の話だけが入っていますので、不都合です。膵臓も含むような表現にするには、どうすればよいでしょうか。
会長	「消化器管系」としてはどうですか。
委員	消化器系だと肝臓の話が入っているので不都合です。
会長	一般の人向けに出すので、表現方法にある程度具体性があった方がよいと思います。脳神経管系についても脳の疾患とあえて書いておいた方がよいと思います。内臓系というイメージがわからない可能性がありますので、くどい表現になっても書いた方がよいかと思えます。
事務局	「消化管・膵臓」という表現はどうでしょうか。
委員	一般の方が聞いてよくわかる代表的な病気は、肝硬変、慢性膵炎、食道がん、痛風といったものでしょうか。食道がんは最近ようやくコンセンサスが得られた病気です。最近、アルコールを飲んでいると食道がんのリスクが高くなるということが知られるようになりました。体のことだけ詳しく書くのではなく、「大量飲酒は肝硬変、慢性膵炎、痛風、食道がん、その他神経関係の脳疾患に結びつきやすい」とさらっと書いてもよいかとも思えます。
委員	「消化管」として、(食道)とか(膵臓)と括弧書きにしてはどうですか。
委員	「消化管」だと、膵臓は入りません。
会長	一般の人に対しては、くどいくらいの表現でよいと思います。
委員	肝臓以外の危険もあることも理解していただいた方がよいと思います。
会長	「がん」と表現すればわかりやすいのですが、がんと特定はできませんので、いろいろな病気をイメージしていただけるように表現する必要があると思います。
委員	この部分の出典は何ですか。
事務局	この部分の専門的なことについては、コンサルタントと調整しながらの作業になります。細かい部分は、まだできていません。
会長	「心血管系」という表現もありますので、ここは「消化器系」という表現に修正するという方向にさせていただきます。
委員	おそらく糖尿病なども関係するでしょうから、代謝疾患も入れた方がよいと思います。「消化器系疾患」「代謝系疾患」「心血管系疾患」「脳の疾患」「その他」という区分です。
会長	先ほどの疾患名と代表的な病名をどこかに記載した方がよいと思います。
事務局	下の習慣病のリストの下あたりに記載します。
会長	上の網掛けの部分の表現方法はこれでよろしいですか。下で説明を追加するということですね。では、アルコールとの因果関係が証明されている病気をいくつか挙げていただき、「等」と表現していただければよいかと思えます。糖尿病も入れてください。
委員	アルコールの摂取量ですが、一般の方にわかりやすいようにというのであれば、具体的にビール何本というような表現にした方がよいと思います。
事務局	わかりました。
会長	歯科口腔については、よろしいですか。

委員	前回の修正をしていただいたもので問題ありません。
会長	事務局、他にありませんか。
事務局	P 5 9 の記載について、ご協議いただきたいと思います。
会長	松本委員から出していただいたご意見をご審議いただきたいと思います。P 5 9 中段のところですが、限られた医療機関をどう有効利用するかということですが、将来的に前回申し上げた問題点がありますので、そのあたりに具体的な説明を加えていただいたということです。
委員	「住みなれた家や地域に帰り、在宅医療を続けられるようにしなければなりません」というところに、国の施策が出ていますが、この表現はふさわしくないと思います。「受診行動」という言葉もわかりにくいと感じます。継ぎ目のない医療連携が必要だということで、リハビリテーションまでステップを踏んでと書いてありますが、そこまでの表現が必要なのかは疑問ですし、市として今後そこまでやっていけるのかということも感じます。
会長	将来的にはこうならざるを得ないことを表現したのだと思いますが。
委員	保健所の立場では、ベッド数が減っていき、国の保健医療がこのようになっている以上、こう書かざるを得ません。もう少しやさしい表現で、目標を示すくらいにした方がよいのでしょうか。実際にベッド数が減っていくことは明らかです。
会長	最後の部分の表現方法を、「在宅医療を続けるようにしなければなりません」とするのではなく、少しぼやかした感じにできますか。
事務局	はい。松本委員もお立場から書かれた文章だということは承知しておりますが、医療法に基づく協議会機関としての役割を担う一方で、是非今回の計画の中で、医療分担のことを市民の方々にも知っていただきたいということを、強く言っておられました。その辺りも含めて、在宅医療にシフトしていく中で、かかりつけ医の役割とそこにかかる重要性についてお示ししてほしいという趣旨ですので、その文体を崩さない範囲でご指摘のところを修正させていただきます。
委員	「努力しなければなりません」などの表現でもよいかもしれません。医師会も在宅医療推進協議会を立ち上げたりしています。
会長	「患者側にも適切な受診行動」という部分ですが、この表現方法はいかがでしょうか。
委員	「受診行動」は動作になりますので、市民に対しての言葉としてもう少し適切な表現方法はありますか。もう少し人間らしさを感じる「適切に受けていただく」というような表現へ変更してはいかがでしょうか。
会長	医療と関わりのない方のご意見をいただきたいと思います。「受診行動」というイメージはわかると思いますが、表現方法としてはいかがでしょうか。
委員	「受診活動」はどうでしょう。
委員	「適切な受診」だけではだめですか。
会長	「適切な受診」という表現を採用してよろしいですか。
委員	(異議なし)
会長	では「行動」を取るということに変更します。次に、基本理念に対してのお手元の資料をご覧いただき、審議をしていきたいと思います。候補として9つの案が挙がっていますが、いかがですか。順次、ご意見をうかがいます。
委員	前回、もう少し夢のある理念にしたいと申し上げました。私なりにわかりやすい表現でい

	<p>ろいろ考えましたので、おかしいかもしれませんがお伝えします。「健康まつり川西」です。元気で楽しくて、健やかなまちをイメージしたら、まつりが浮かんできました。</p>
委員	<p>理念であまり多くを語るのはよくないと考えます。「地域で、みんなで健康づくりをしよう」というような基本理念がよいと思います。か です。</p>
会長	<p>キーワードは「地域」と「健康づくり」ということですね。</p>
委員	<p>がよいと思います。「からだ」と「こころ」という言葉が入っているからです。</p>
委員	<p>ひとりひとりがいつまでも健康で過ごしていただくという意味で、を挙げさせていただきました。このような目標的なものを理念にしたらどうかという考えです。</p>
委員	<p>がよいと思います。「地域」を抜いて、「笑顔で支え合う健康づくり」がよいと思います。タイトルが「川西市健康づくり計画」です。</p>
委員	<p>できれば短く簡単なものがよいと思います。は少し長いように思います。「まち」という単語が抜けていますが、の「地域で支える健康づくり」がよいかと思います。私の意見は参考までにしてください。</p>
委員	<p>シンプルな がよいと思います。</p>
委員	<p>「ハッピーエバーかわにし」というものを思いつきました。エバーというのは「みんな」という意味と「永久」という意味を重ねています。この言葉を「健康」につなげた「ヘルスエバー」より「ハッピーエバー」の方が響きがよいと思います。標語のような感じで「ハッピーエバーかわにし」というのはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>消去法だと になりました。</p>
委員	<p>がよいと思いますが、のロゴを変えて、「地域で支えあう健康づくり」としてもよいかと思えます。</p>
委員	<p>私は を提案しました。</p>
委員	<p>P 27の前回問い合わせていただいたところで、市民の方にどれだけ能動的に健康づくりに取り組んでいただくかということが今後大事になると思いますので、それも踏まえて「市民主体」という表現を入れていただきたいと思えます。「共につくろう市民主体の健康都市かわにし」というものを考えました。長い理念はよろしくないという考え方もあるかと思えますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>がよいと思います。</p>
委員	<p>宿題として考えてまいりました。中途半端な健康づくりではなく、全力でという意味で「笑顔満開、こころはずむまち川西」というものを考えてきました。「笑顔」という言葉が入っていた方がよいと思えますので でも結構です。</p>
会長	<p>みなさんのご意見をうかがいましたが、基本的には「地域」「健康」というキーワードが入ったものよいかと、議長としては考えています。か ということです。委員のみなさんのご意見では が最も多かったのですが、を主にしたらどうでしょうか。のままにするか、先ほどの の表現を取り入れた形にするのか、どちらがよいでしょうか。</p>
委員	<p>折衷案で「笑顔で支える健康まちづくり」はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>「支え合う」としてはどうでしょうか。</p>
会長	<p>「笑顔で支え合う健康まちづくり」ですね。みなさん、ご了承いただけますか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>

会長	では、基本理念は「笑顔で支え合う健康まちづくり」とします。 事務局、健康づくり計画に記載する指標の扱いについて説明をお願いします。
事務局	《健康づくり計画に記載する指標の扱いについて説明》 追加することがありましたら、ご支持願います。
会長	ありがとうございました。指標の扱いについて6項目の説明がありましたが、ご意見はございませんか。
委員	市の総合計画とのリンクを含めたものですか。
事務局	はい。
会長	把握が難しい数値は具体的に言うと何ですか。
事務局	例えば、胃がん検診の受診率を出すと、県から公表されている数字は分母を共通ルールで出して単に胃の透し検査の受診率を示していますので、単純に比較すべきではないというご指摘を受けています。数値が市民に対して説明できるものかどうかということです。アンケートをしていないのでわからないものも、現状値に含んでいます。
会長	最終的には基本的なことは事務局にお任せするということになるかと思いますが、それでよろしいですか。
事務局	参考として、今後5年間毎年みていく指標についてお話しします。総合計画にも挙げている指標ですが、まず「食事を楽しいと思う人の割合」というものを、今回新しい項目として設定しました。毎年、進捗状況をみていきます。もう1点が乳幼児健診に関して「乳幼児健診の受診率」という表現になっていますが、能動的に来られた方に加えて、私ども保健師等がその後直接フォローのためにお会いできる割合を100%に近づけたいという思いで、今回の目標に追加して運営していこうと思っています。来てもらうだけでは、児童虐待などは追いかかれませので、保健師としては厳しい目標になりますが、今後5年間の目標として掲げていくということで、この項目に追加しようと思っています。
会長	より実態に則したデータを出したいということで、大変だと思いますがよろしく願います。委員のみなさん、よろしいでしょうか。 事務局から他になれば、次にまいります。その他として、全般を通してご意見はありますか。なければ今日の審議はこれで終了させていただきます。
事務局	本日は大変ご熱心なご協議を賜り、ありがとうございました。 前回は計画名称として「川西市健康づくり計画」が決まり、今回は基本理念として「笑顔で支え合う健康まちづくり」が決定しました。 川西市健康づくり計画案については、今後、事務局で詳細な内容の検討を重ねます。本日はいただきましたご意見の他にも、この会議以降にお気づきの点などはお手元の意見シートでお伝えいただきたいと思います。それらを参考に修正作業をしていきたいと考えておりますので、FAXやメール、お電話でも結構ですので事務局までご連絡ください。 今後の予定としては、会長をはじめ委員のみなさまとご相談の上、先ほど申し上げました必要な修正等を行った後に、市議会での説明する案として仕上げていきます。12月に市議会での説明を行うとともに、パブリックコメントによって広く市民のみなさまの意見をいただくという運びになります。 事務局からは以上です。大変、ありがとうございました。
会長	これをもちまして平成24年度第3回 川西市健康づくり推進協議会を閉会させていただきます。 (閉会)